

ICT を活用した授業のイメージをつくりましょう

教科 ・ 領域等	情報／情報の収集・発信と情報機器の活用
授業タイトル・単元名等	情報の収集・発信における問題点
対 象 学 年	高1
実 施 場 所	情報処理室
I C T活用授業の内容	<p>授業のねらい 情報社会で被害者、または加害者にならないために気をつけたいことを自己責任の観点から理解させる。</p> <p>授業の流れ</p> <p>【導入】(20分) ネット上にある悪意を持った情報を利用してしまった場合どうなるのか体験させる。指示された Web ページを操作して具体例を追体験する。 (http://sweb.nctd.go.jp/kyouzai_new/index.htm)</p> <p>【展開】(25分) ネット上から情報を収集する上でどんなことに気をつけなければならないかを学ぶ。指示された Web ページを操作して具体例を追体験する。 (http://www.wmc.gr.jp/security/index.htm)</p> <p>【まとめ】(5分) ネット社会では被害者のみならず加害者になる可能性もあることを示す。次回までに加害者になる例について考えてくることを指示する。</p> <p>I C T活用のねらいと授業での位置づけ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習をとおして、ネット上での行為がどんな結果をもたらすのか追体験させる。 2 法規の整備が遅れている状況で、自己責任の重要性に気づかせる。
活用する ICT メディア	インターネット
活用するコンテンツ等	情報モラル研修教材 2005、情報モラルを学ぼう